

学校法人東北文化学園大学広報誌

季報26

本法人の広報誌を国見の自然あふれる四季ともにお届けします



秋晴れの日差しの中
キャッチボールをする学生たち

※本誌掲載の写真については、新型コロナウイルス感染症対策のため撮影時のみマスクを外しています。

contents

- P 1 表紙
- P 2 K-1 カレッジ2021
～大学生日本一決定トーナメント～
で建築環境学科学生が優勝
- P 2 第18 回後期仙台ダンススポーツ大会で
臨床工学科学生が優勝
- P 3 強化部紹介（剣道部）
- P 3 大学施設の拡張と充実について
- P 4 経営法学部紹介
- P 5 コンテスト入賞（建築環境学科）
- P 6 専門学校NEWS
- P 7 友愛幼稚園NEWS
- P 7 久慈幼稚園NEWS
- P 8 研究者紹介（視覚機能学専攻）

新型コロナウイルスでさまざまな活動が困難な中でも、
 本学の学生は目標に向け行動しています。今回は、「K-1
 カレッジ 2021 ～大学生日本一決定トーナメント～」で優勝
 した建築環境学科の学生。そして、「仙台ダンススポーツ大会」
 で優勝した臨床工学科の学生など、学生の活躍を中心に紹介
 します。（2頁、5頁参照）



「K-1 カレッジ 2021 ～大学生日本一決定トーナメント～」で建築環境学科学生が優勝

東京・GEN スポーツパレスにて「K-1 カレッジ 2021 ～大学生日本一決定トーナメント～」が開催され、-55kg級で、建築環境学科の内田竜斗さんが激闘を制し優勝しました。



「K-1 カレッジ」とは、2016年から始まった全国の大学生立ち技格闘技ナンバーワンを決める大会です。格闘技を学ぶ学生たちが青春をかけて臨む夢のリングです。

また、内田さんはKO至上主義の格闘技大会「Krush(クラッシュ)」で活躍中の内田晶選手の実弟でもあります。

初出場で優勝しましたが、感想は？

友人に「優勝して来ます」と伝えていたので、有言実行できて良かったです！周囲の方も我がことのように喜んでくださったのですが、一番の喜びは1年半前に亡くなった天国の母に、成長した姿を見せることができた事です。

格闘技を始めたきっかけは？

親戚が空手をしていたことがきっかけです。兄が習い始め、自分も小学1年生から始めていました。現在も大学に通いながら、格闘技にも挑戦できるのは両親のおかげです。

大学生活と練習の両立は？

授業後に練習時間を確保することが難しかったです。ただ、授業での集中力や、課題をやり遂げる継続力が格闘技にも活かされていますし、どちらも疎かにしてはいけないと思います。



将来の展望は？

これからはプロの試合で勝つために努力を続けます。兄と共に、内田兄弟で東北から格闘技を盛り上げたいと思います。



「第18回後期仙台ダンススポーツ大会」で臨床工学科学学生が優勝

仙台市青葉体育館で開催された「第18回後期仙台ダンススポーツ大会」で、臨床工学学科の松浦優莉華さんと、弟の龍騎さんの姉弟ペアが優勝しました。

優勝の感想は？

「とても嬉しいです。絶対に優勝するという気持ちで挑みました。結果を



最初に伝えたのは母です。とても喜んでくれました。祖父母や親戚の応援も力となりました。」

姉弟ペアですが普段の関係は？

「普段は仲が良く喧嘩することはありませんが、ダンスの時は別です(笑)弟と私、それぞれ表現したい踊りが違う時には喧嘩になることもありますね。ただ、家に帰れば何事もなかったかのように普段どおりです。」

ダンスを始めたきっかけは？

「祖母と行った市民センターで、ダンスサークルの練習を見たことです。綺麗なドレスを着た人達の踊りを見て、私もやってみたい!と思いました。」

ダンスと学業の両立は？

「ダンスは土・日曜日に短時間で集中して練習しています。私は学業を優先し、予習や復習を怠らないようにし



ています。」

今後の目標・将来の夢は？

「全日本大会「三笠宮杯」や世界大会など大きな大会での入賞です。これまで中学生の部(ジュニア)や高校生の部(ユース)での入賞経験はありますが、今後は、大学生や社会人の方と戦い、一生懸命頑張りたいです。将来は、臨床工学技士として働きながら、ダンススポーツも続けていきたいです。」

いよいよ始動（剣道部監督 菅野 良信）

1年間の準備期間を経て、大学・諸先生方からのご指導をいただき、4月いよいよ活動開始という時に、いまだ終息が見えないコロナのために、約1ヶ月遅れの練習を開始しました。

当初、部員募集に苦労しましたが、まずは4人で活動を開始し、現在、7人の女子部員で活動をしています。

順調に活動をし、6月の東北女子学生剣道大会（個人戦）を目標にしましたが、またもコロナのために大会は中止。気持ちを9月の東北女子剣道優勝大会（団体戦）に切り替えましたが、またもコロナのために練習が中止になり夏季休業。県外からの部員もい

るため帰省させ、再開したのが8月25日となりました。

出場するからには、1年目から全日本学生大会を目指し、部員ともども熱の入った練習が続きました。

大会は2021年9月26日に開催し、1回戦は強敵仙台大学が対戦相手で、残念ながら0対3で敗退してしまいました。

しかしながら、部員達は新人大会、来年の大会に課題を見つけ、一人一人が連日熱のこもった練習をしております。

授業の関係で、練習時間はあまり取れませんが、限られた時間集中し、先

を見据えて部員と共に喜びを味わえるように頑張るつもりですので、応援の方をよろしくお願いたします。

練習場所

体育館2階 剣道場

練習曜日・時間

月	19:00～20:30
火	19:00～20:30
木	19:00～20:30
金	19:00～20:30
土	9:30～12:30



大学施設の充実について

学生のキャンパス環境充実のため、関係会社の(株)TBG サービスと協力し施設・設備の充実を行いました。

キャンパス内の飲食施設を充実

- ・テイクアウト専門店「たりてますか」
- ・本格カレー店の出張店
- ・クレープのキッチンカー（週2火・木開店）

- ・5号館学生食堂に軽食販売機を設置
- ・2号館1階に飲食スペースを開設し、電子レンジ、ポット等を設置

運動用グラウンドの環境整備

- ・第1運動公園、第2運動公園の環境整備を行い、いつでも使用できるよう準備しています。

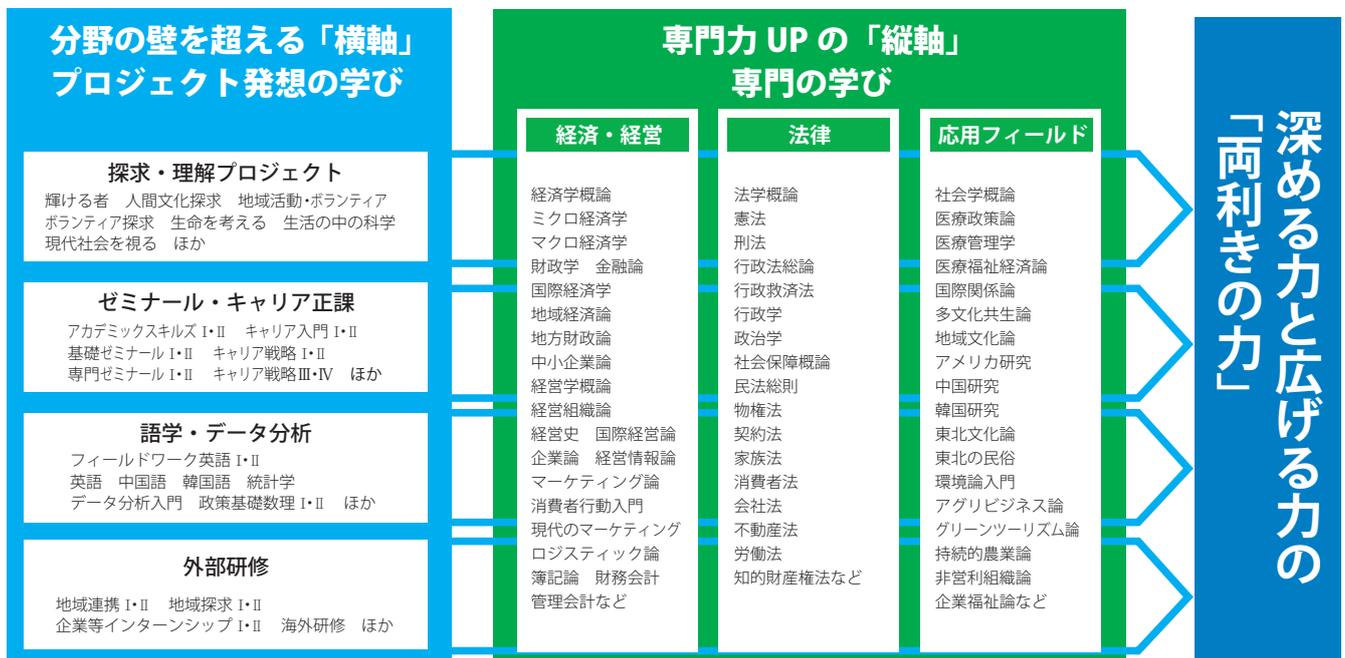


2021年4月、東北文化学園大学では、経営法学部がスタートしました。

分野を超えたプロジェクト発想による問題解決をテーマに、これまで多くの学生たちを輩出してきた総合政策学部は、法学及び経営学を中心とした社会科学及び関連する人文科学などの分野を総合的に学び、研究する経営法学部へとステップアップします。本学だけの「マトリクス組織」(NASA 発端)による、変化を先取りする先見性、自立した事業運営力、地域活性化に資する情報収集・分析・発信能力、国際社会で活躍する能力を持った人材の養成を目指します。



経営法学部のポイント 「分野を超えたプロジェクト発想で問題解決」



プロジェクト発想で大切なのは

経営・経済・法学などの各学問領域を縦に「深める力」と横に「広げる力」の「両利きの力」です。

特に、様々な主体間や組織間で問題意識を共有・解決する「広げる力」は、本学のプロジェクト学習で培ったコミュニケーション能力や未知のものを探索する能力によって体得できます。

高い就職率

2020年度就職希望者の96.5%が就職決定しました。経営法学部では1～4年次まで一貫したキャリアサポート体制を構築し、キャリア科目をマイナビ、ディスコの2社と共同授業を行っています。

社会で活躍する先輩たちと就職実績



東北電力株式会社 勤務
千葉 里奈さん
宮城県 / 宮城県農業高等学校出身



福島県保健福祉部 勤務
相原 綾乃さん
宮城県 / 宮城県白石高等学校出身



仙台国税局中税務署 勤務
設楽 弘通さん
宮城県 / 第一学院高等学校出身

国家公務員(東北地方整備局・北海道開発局) / 国税専門官(仙台国税局) / 福島県職員 / 大崎市職員(行政) / 警察官(警視庁・宮城県警察他) / 自衛隊 / 山形銀行 / あぶくま信用金庫 / 石巻信用金庫 / 米沢信用金庫 / 日本郵便株式会社 / プリジストンタイヤジャパン株式会社 / トヨタ部品宮城共販株式会社 / 株式会社ヨークベニマル / イオンリテール株式会社 / P & G プレステージ合同会社 / 関東グリコ株式会社 / カメイ株式会社 / 一建設株式会社 / 株式会社日本ハウスホールディングス / 東和総合住宅株式会社 他

第4回建築設計競技に建築環境学科学生3人が入賞（建築環境学科）

一般社団法人実践教育訓練学会が開催する建築設計コンテスト「第4回建築設計競技」（テーマ：リモートワーク住宅）で、建築環境学科の学生3人（増田ゼミ3年生）が2等に入賞しました。

◎2等 / アイディアホーム賞
菱沼 佳祐「リモートワークのためのツインオフィス～坂道界隈にあるオフィス街～」

◎2等 / 日本住宅賞
正木 亮「コートを囲んでリモートワーク

～独立した夫婦のオフィス～」

◎2等 / メガソフト株式会社賞
佐藤 駿「離れのオフィスがある家～屋上庭園を巡ってオフィスへ～」

※応募作品数 76 作品



「リモートワークのためのツインオフィス～坂道界隈にあるオフィス街～」



「コートを囲んでリモートワーク～独立した夫婦のオフィス～」



「離れのオフィスがある家～屋上庭園を巡ってオフィスへ～」

審査員講評

海を臨むことができる高台に、RC造4層構成の住宅の提案である。この最下の地下1階に「ポケットオフィス街」を設けており、この空間概念がたいへん興味深い。通勤移動がなく日々の生活が単調になりがちなりリモートワークの課題を、あえて一度私生活の玄関から強制的に外出させ仕事スペースに至る動線が、住人の気持ちのメリハリに寄与できる。また孤立しやすいリモートワークに対しお互いの気配を感じさせる間取りも興味深い。

小規模ながら多様な用途が盛り込まれ、空間の使い方が工夫されており魅力と可能性を感じる。植栽を中心に配置することにより、街中であっても自然との触れ合いを可能にする空間が住居と一体になっていることが高く評価された作品である。

審査員講評

自宅でリモートワークを行う際の悩みとして、家族の話し声や家事の生活音、同居家族のオンライン会議の声等の雑音が気になり仕事に集中できない点が上げられている。作品は共働き夫婦が家族のつながりを保ちながらお互いに快適にリモートワークを行える住宅の提案である。1階は家庭生活の空間とリモートワークの空間を分棟して明確に分けた上に、リモートワーク室を別々に設けながら、1室につなげて使用できるよう配慮されている。また、分棟としても家族がお互いに見える関係にあり、ワークスペースからも居住感をリンクさせる工夫が取られている。細かい部分まで考えられた設計が高く評価された。

審査員講評

仙台市内の高台に位置する「離れオフィスがある家」である。1階と3階に仕事部屋を設置して、リモートハウスとしての仕事の集中とリラックスを追究しており、「この家なら家族と住んでもいいな」と思わせる作品である。北側のカーテンウォールは、メンテや水滴問題など色々あるかもしれないが、インパクトがあり、雨の日も楽しく過ごせそうである。緑も多く、左下の空間には将来ホームエレベーターの設置ができそうなので、永く暮らせそうである。居住空間からちょっと離れた仕事部屋は、会話なども聞かれない遮蔽性が高い。図面表現にも独自性と工夫が見られ、室内のレイアウトも良い。マイホームデザイナーを活用した表現が高く評価された作品である。

専門

新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期していた相談援助実習がスタート（社会福祉科）

社会福祉科では、新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期されていた社会福祉士養成の現場実習を9月27日から開始しました。

現場実習の実施に際しては、特別養護老人ホームや仙台市各区保健福祉センター等の実習施設・機関と新型コロナウイルスの感染防止対策等の様々な



工夫や調整を行い、実習施設・機関から協力を得ることができました。

具体的な実習内容については、利用者・ご家族と実習生とがiPadを使ってコミュニケーションを図る機会や社会福祉士に必要とされる多職種と連携を図る場面で、実習生4人と栄養士、歯科衛生士、介護支援専門員等がZOOMを使いマルチ画面上でオンラインにてカンファレンスに参加する機会をいただくなど、コロナに対応した有意義な実習を体験することができました。

コロナ禍で直接的な体験が難しい状況下での現場実習ですが、この実習で



得た貴重な体験は、実習生各々の今後の相談援助活動に活かされていくことと期待しています。

専門

見守り用介護ロボットの体験学習を実施（介護福祉科）

介護業界における、人手不足の課題解決に貢献できると期待を持たれているのが、様々な介護ロボットです。



本人自身のための自立行動のサポートや認知症予防などに有効と考えられますし、要介護者の負担軽減、介護を受けるストレスを減らす効果も期待されます。

介護ロボットには、検知センサーや外部通信機能を備えた機器などにより、365日、要介護者の見守りをするロボットがあります。

今回、介護福祉科では見守り支援ロボット（安心ひつじ）とともに、アレクサアプリを使い音声でベッドを起動するシステムを備えた介護用ベッドをレンタルし、実際に体験しながら学習を行いました。

見守り支援ロボットが、センサーで感知した心拍数・呼吸数・体動を離れた家族のスマホや訪問看護ステーションなどに送信できる状況や、アラート機能、ナースコール機能などを確認し

ました。

また実際に音声でベッドを起動し、障害のある方が在宅で生活する場合などを想像しながら、機器を活用することでどのようなメリットがあるかを考える良い機会となりました。



専門

照明作品のプレゼンテーション（インテリア科）



照明制作の課題が完成し、プレゼンテーションを行いました。今年もバラエティあふれるアイデア作品が集まりました。

専門

合格祈願！だるまに目入れ（視能訓練士科）



10月吉日。視能訓練士国家試験の願（眼）掛けで、だるまの目入れを3年生全員で行いました。一丸となってガンバるぞ！

幼稚園

運動会を終えて（幼稚園型認定こども園友愛幼稚園）

台風一過の10月2日“ゆうあいオリンピック”（運動会）を行いました。



今年も、学年ごと時間を区切り、観覧の人数も制限する等、新型コロナウイルス感染症対策をとった開催となりましたが、保護者の方々の協力もあり、子どもたちの笑顔いっぱいの“ゆうあいピック”になりました。

コロナ禍でも開催する運動会の「意義・ねらい」として、①子どもたちがチャレンジしたいこと②保育者が子どもたちに経験してほしいこと、を組込み、種目は全学年、かけっこ・お遊戯・ゲーム遊びを設定し、年長組はその中にリレーを追加することに決め取り組みました。

子どもたちは、かけっこで1等賞をめざし、お遊戯では、友だちと協力して一つのことをやり遂げる達成感を楽しみ、リレーではチーム一丸となってバトンを繋ぎ1等賞をめざしました。

運動会を通して、友だちと一緒に喜んだり、悔しくて泣いたり、心と身体

で様々なことを吸収した子どもたちの、これからの変化が楽しみです。



幼稚園

やってみよう！「スラックライン」（幼保連携型認定こども園久慈幼稚園）

9月30日、園庭にスラックラインが設置され、園児と職員を対象に講習会が開催されました。

講師の先生の実演では、子ども達が初めてみる遊びに目を輝かせ、先生の技が決まる度に歓声が上がりました。

ラインから落ちないように片足を乗せ、両手とラインに乗せていないもう



片方の足で体のバランスを取ります。前後に進む他に、ジャンプやしゃがんだりする技もあり、体幹を鍛えたり平衡感覚を養い集中力も高めたりすることができます。

3歳以上児は、ラインを渡り終わると満面の笑みを浮かべ「また、やりたい！」と声を弾ませました。少し怖がる子もいましたが、諦めずに挑戦し、ラインを進めるようになりました。何度落ちても「できるようになりたい！」という強い気持ちが現れていて、きらきらと輝いていました。

スラックラインを取り入れたことで、遊びの幅が広くなり、心身共に成

長することができそうです。様々な遊びに挑戦していけるように、わくわくドキドキするような遊びを提供していきたいと思います。



専門

成績優秀賞受賞（医療ビジネス学科）



6月に行われた医療秘書技能検定・医事コンピュータ技能検定において、医療秘書科と医療情報管理科の2年生6名が成績優秀賞を受賞しました。

医療秘書技能検定2級は全国で75名、医事コンピュータ技能検定2級では全国で108名の受験者が成績優秀賞を受賞しています。

医療ビジネス学科では、毎年すべての学生がたくさんの合格証書を手にしており、より上級の検定を目指し日夜勉強に励んでいます。

私の研究テーマは、ロービジョンリハビリテーションに関することです。

私は、視能訓練士として眼科に就いて仕事をしてきました。眼科に就かれる患者様の中には、視覚障害（ロービジョン）で困っていらっしゃる方がおられます。

ロービジョンとは、眼の病気により視力・視野・色覚・光覚（羞明や夜盲）・屈折・両眼視および眼球運動に何らかの治療困難な視機能障害があり、そのため長期にわたり日常生活、社会生活に不自由がある状態をいいます。

このようなロービジョンの方たちへのリハビリテーションは、視覚補助具

の紹介や訓練、保有視覚を有効に活用する方法の指導、日常生活での工夫や訓練、教育、福祉支援、就労支援などを含む包括的な支援です。

以前からほとんど見えない視覚障害者に対する教育や就労支援はありましたが、現在ではロービジョンリハビリテーションが積極的に取り組まれてきています。

世界的に見ても本格的に取り組まれるようになったのは第2次世界大戦後で、1951年に初めてのロービジョン補助具（拡大読書器）が開発されるなど、ここ半世紀で急速に発展してきました。日本では2000年に日本ロー

ビジョン学会が設立されました。

私は患者様の多様な視機能の障害が日常生活の中でどのような不自由さにつながっているのかについて調べ、それを評価するためのツールの開発などを研究してきました。

視覚障害は情報障害といわれています。眼が見えにくいと気持ちまで暗くなってしまうがちですが、様々な方法を知ることによってQuality of Lifeを高め、笑顔を取り戻すことが出来ます。

ロービジョンの方たちに寄り添い、明るく生活していただけるよう支援や研究に取り組んでいきたいと考えています。



視能訓練士とは

視能訓練士は眼科診療に係る視機能検査全般のほか、自治体の3歳児健診や成人病健診などの予防医学分野への参加など幅広い業務を担当します。東北文化学園大学視覚機能学専攻では、多岐にわたる眼科諸検査の技術を習得するために、最新機器を取り揃えています。また、眼科学をはじめとした研究者への道も多彩な学位を有する教員達がサポートします。

視覚機能学専攻卒業生の主な就職先

【宮城】 東北大学病院 / 東北医科薬科大学病院 / 平成眼科病院 / 松田病院 / 公立刈田総合病院 / みやぎ県南中核病院 / 佐藤裕也眼科医院 / 大崎ミッドタウン総合メディケアセンター・クリニック / わだゆうこ眼科クリニック **【山形】** 日本海総合病院 / 古谷眼科クリニック **【福島】** 福島県立医科大学附属病院 / 総合南東北病院（南東北眼科クリニック） / 今泉西病院 **【岩手】** 岩手医科大学附属病院 / 岩手県立大船渡病院 / 亜理眼科医院 / はしもと眼科クリニック **【秋田】** なべしま眼科クリニック / かん眼科 **【青森】** 弘前大学医学部附属病院眼科 **【その他】** 京都大学医学部附属病院 / 日本医科大学付属病院 / 順天堂大学医学部附属順天堂医院 / 東京女子医科大学病院 / 埼玉医科大学病院 / 獨協医科大学病院 / 金沢医科大学病院 / 金沢大学病院 / 聖マリアンナ医科大学病院 / 戸田中央総合病院 / いきいき眼科クリニック / 焼津こがわ眼科 / 志熊眼科 他

本誌に関するご意見・ご感想をお待ちしております。
また、記事掲載のご要望等あればご連絡ください。

■連絡先

学校法人東北文化学園大学 総務部総務課
〒981-8550 宮城県仙台市青葉区国見6丁目45-1
TEL 022-233-3330（代表） FAX 022-233-9875
メール pr@office.tbgu.ac.jp

学校法人東北文化学園大学 寄附金募集のご案内

本法人が掲げる理想の人物像「輝ける者」を社会に輩出するために、教育研究活動のための環境整備及び学生の修学支援体制の充実を行うことが必要です。より一層の教育研究活動の発展のため、皆様からのご支援を賜りたく、寄附金を募集しております。詳細は**本学HP**をご参照ください。